

柴田 鍊三郎 (しばた れんざぶろう)

大正6(1917)年～昭和53(1978)年

本名同じ(後に嫡養子で斎藤姓になる)。剣豪小説で人気作家になる。随筆家、文化タレントとしても活躍。

吉備路文学館



岡山の備前・備中・美作から広島東部の備後までの文学者たちの業績を紹介している。
岡山市北区南方3-5-35、☎086-223-7411
9:30～17:00、月休、P有 ※地図P23参照

「吉備路文学の魅力を一堂に」

吉備路には数多くの文学者がいます。当館では、柴田のほか二百数十名の資料を収蔵しています。

館長 明石 英嗣さん



読みたい一冊

生い立ちから青春期、入隊時代、東京での奮闘までの足取りと柴田文学を解説する。岡山文庫。日本文教出版。



岡山ブルーライン片山大橋通りから鶴海(つるみ)を望む。

”シバレン”の愛称で一世を風靡。昭和30年代、柴田鍊三郎が生んだ「眠狂四郎」は従来の剣豪イメージを覆したニューヒーローだった。

”シバレン”の愛称で親しまれた柴田は、大正6(1917)年に岡山県邑久郡鶴山村(現備前市鶴海)に生まれた。複雑に入り組み、鶴の嘴のような入り江があるこの地で幼少期を送り、慶応義塾大学医学部予科に入るが、半年で文学部予科へ移る。卒業後、銀行勤め、出版関係の仕事、新聞社、雑誌の編集長を経て、本格的に作家活動に入る。昭和27(1952)年に『イエスの裔』で直木賞を受賞。次の『眠狂四郎』シリーズで剣豪小説の一大ブームを巻き起こす。

巻き起こった剣豪ブーム



柴田 鍊三郎と備前

【岡山県】

備前焼のまち・伊部(いんべ)。



備前焼の里の氏神とされる天津(あまつ)神社は神門や狛犬も備前焼。まち歩きの出点になるJR「伊部駅」内の喫茶UDOは備前焼のカップで美味しいコーヒーが飲める。

天津神社 備前市伊部629
喫茶UDO 備前市伊部(駅構内)
☎0869-93-4701、10:00～17:00、不定休、P有



赤煙突が迎える伊部。

地元に残るゆかりを訪ねた後は、備前焼のまち伊部(いんべ)で情緒あるまち並みを楽しみたい。

す。映画、テレビドラマで見る哀愁漂うニヒルな剣士の「円月殺法」にだれもがドキドキさせられた。

明治天皇や魯山人ら文人墨客が立ち寄り、超売れっ子作家の柴田も逗留した地元の老舗荒木旅館では、書き下ろした原稿を近くの郵便局から東京に送っていたという。



柴田が泊まった部屋は当時のまま。

ひと休みトーク Tabi no Bookmark

日本最古の庶民学校、儒学の殿堂。



寛文10(1670)年に備前岡山藩主池田光政が創設した日本最古の庶民学校。儒教の殿堂として古くは頼山陽も来訪、正宗白鳥、三木露風などを輩出。備前焼で煮かれた講堂が歴史を語る。

旧閑谷学校
備前市閑谷784 ☎0869-67-1436、9:00～17:00、P有



柴田家は地元の名家。外から往時を偲びたい。近くの公園には文学碑が建つ。



大女将の光世さんからは、柴田のエピソードが聞ける。左は女将の陽子さん。

ゑびすや荒木旅館

備前市西片上1280 ☎0869-64-2004
P有



●柴田鍊三郎写真は荒木旅館提供